

令和8年度「持続可能な地域運営実践支援プラットフォーム運営事業」  
事業説明会 開催要項

1 趣旨

人口減少や高齢化が進行する県内集落において、持続可能な地域運営を推進するためには、外部専門家の知見活用や先進地からの学び、そして地域間のネットワーク構築が不可欠である。

本説明会は、令和6年度・7年度における当事業の具体的な活用事例と成果を共有し、令和8年度「持続可能な地域運営実践支援プラットフォーム運営事業」の効果的な活用方法について理解を深めるとともに、今後気軽に相談いただける関係性を構築することを目的とする。

2 主催・事業実施主体

主催：愛媛県(地域政策課)・事業実施主体 (公財)えひめ地域活力創造センター

3 対象者

愛媛県下の自治体職員

集落支援員、地域おこし協力隊

地域運営組織(RMO)の役員・構成員

その他、地域運営組織の活動振興を担う方々

4 開催日時・会場

【中予・南予会場】

日時：令和8年6月3日(水)13:30～16:00

会場：IYO 夢みらい館 2F 会議室201(伊予市)

【東予会場】

日時：令和8年6月4日(木)13:30～16:00

会場：SAIJO BASE 2F セミナールーム(西条市)

5 プログラム内容(予定:150分)

13:30～13:35(05分)開会・主催者挨拶(愛媛県 地域政策課)

13:35～14:15(40分)基調講演

講師：愛媛県集落支援員 鍋島 悠弥 氏

14:15～14:45(30分)令和8年度 事業説明

説明者：(公財)えひめ地域活力創造センター 副センター長 田村 政幸

内容：先進地研修派遣、専門家マッチング、課題解決勉強会などの具体的なメニューと申請方法等の解説

14:45～14:55(10分)休憩

14:55～15:45(50分)パネルディスカッション

「プラットフォーム事業を活用した地域運営のリアル」

ファシリテーター: 田村 政幸

パネリスト: R6・R7 年度事業活用団体の役員(各会場 1~2 名)

アドバイザー: 鍋島 悠弥

15:45~15:55(10分) 質疑応答

15:55~16:00(05分) 閉会挨拶(えひめ地域活力創造センター)

---

## 基調講演

### 【テーマ】

「過疎を言い訳にしない！地域を動かす『伴走支援』と『中間支援』の重要性～プラットフォーム事業を使い倒すための思考法～」

### 【講師】

愛媛県集落支援員 鍋島 悠弥

### 【内容】

#### ・「課題」から「希望」への転換

令和5年度の集落实態調査等で明らかになった厳しい現状を前提としつつも、外部ノウハウを適切に導入することで現状を打破できることを強調。

#### ・自治体職員・支援員の役割再定義

単なる行政窓口ではなく、地域と専門家をつなぐ「伴走者」としての立ち回りが、事業成功の鍵を握るというマインドセットの共有。

#### ・客観的な視点の提供

R6、R7の事業を通して見えてきた「うまくいっているRMO」の共通点(若者や移住者の巻き込み方、収益化への意識など)を、集落支援員の立場から解説。

## パネリスト候補

- かりとりもさくの会(西予市明浜町): 北海道東川町や埼玉県横瀬町への先進地派遣、リズカーレ安形氏による専門家マッチングを経て「企業組合」の設立(法人化)へ向けたプロセスなどを共有いただく。
- 横林自治振興協議会(西予市野村町): 山形県川西町への視察や、フードコーディネーター長尾氏、マルブン眞鍋氏のマッチングを通じた「霧源」ブランドの再構築、オーナー制度導入のリアルな声などを共有いただく。
- みらいの関川を考える会(四国中央市): 島根県益田市への先進地派遣や、NPO 法人おむすびの大畑氏による専門家マッチングを通じて、子どもを巻き込んだ地域づくりへと舵を切ったプロセスなどを共有いただく。
- 遊子川地域活性化プロジェクトチーム(西予市): 遊子川集落づくり計画の見直しと組織再編のリアルな体験談などについて共有いただく。